

CHECK

CLUBFAME PICK UP NEWS
AT KYOTO TOWN

IT OUT!



**贈っても、贈られても、
気分のいいキョートな花屋。**

花を贈るといふ行為は、本来ロマンティックなものである。何のてらにもなく花を贈る男性が増えた昨今ではあるが、そんな優雅な気持ちも忘れられなくなり、贈る方も贈られる方も満足できる花屋、花鈴である。こじんまりと小さいながらも、オレンジと青を基調とした明るい店造りは、男性にも好評。かわいさより個性的な絞った仕入れて、月ごとにテーマを決めているのも面白い。ちなみに6月のテーマは、ブルー系。おススメはブルースターやニゲラデルフィニウムあたり。ラッピングも、もちろん凝っており、約45種類のラッピングペーパーと約80種類のリボンを組み合わせ、イメージ通りに仕上げて



くれるのも頼もしい。いつも新鮮さを心がけてます。」という店長、吉永さんをはじめとしてスタッフはすべて女性。気軽に相談したい。お厚3,000円。●聖護院 花鈴
京都市左京区聖護院西町19
ヴィラ聖護院1F
075・771・9490
10:00AM~7:00PM 無休



散歩がてらに、買い物かてらに、覗きたいシヨールームとギャラリー!



豊富なカーバリエーションが好評の京都トヨタ。昨年12月にオープンした乙訓営業所へは、もう足を運ばれたらどうか。明るいシヨールームでお入りの方に触れたら、是非立ち寄り

て欲しいのがこのP.F. 誰でも利用でき、入場できるコミュニティギャラリーとなっており、その時々に合わせて作品に出会える楽しいスペースなのである。展示作品も常時募集しているから、絵画、写真、生け花などの展示会に気軽に利用したい。この時期なら、ちょうどハイラックスサーフ、エミナーなど、P.V.車が見気になる頃。クルマを見に来たついでに、P.F.へも

どうぞ。
●京都トヨタ・乙訓営業所
京都市伏見区園道17号線菱川交差点東側
075・935・3030
9:00AM~7:20PM 無休



神戸を映画エンターテイメント一色に染め上げるか、神戸映画大賞'93。

娯楽としての映画の衰退が叫ばれて久しい。テレビ・ビデオといったニューメディアの台頭が、家庭に映画を呼び込み、その観賞形態の変貌が余儀なくされてきたためである。とはいえ映画ファンとしては、いい映画を映画館で見たいのは当然の心理。ましてインディペンデント作品や邦・洋の名画となればなおさらである。そんなシネマ・フリークに朗報。神戸映画大賞'93だ。構成は大きく2つに分かれており、ひとつは次代の映画界を担う若く才能ある映画作家たちを、世界中から発掘し、育成しているという日本初の短編映画の国際コンペティション「神戸国際インディペンデント映画祭」。ここでいうインディペンデント映画とは、他者の商業的要請によつてではなく、作者自身の制作意志によつて自発的に

作られた映画。つまり、監督が本心に作りたくて作った映画なのである。開催日は6月8日~13日。はじめの5日間で、60分以内であればジャンル、プロアマ問わずにエントリーされた作品が上映され、最終的にベスト5フィルムの上映とシンポジウム、表彰式が行なわれる。インディペンデントで、しかも売れにくいと敬遠されがちな短編が上映されるのは、日本では極めて稀なこと。思いがけず新しい才能と出会えるので、見逃せない。もうひとつは「神戸市民映画フェスティバル」。内外の名画を神戸市内の映画館12館において30本、5月29日~6月13日の2週間にわたり、連続上映するというもの。作品には広く市民からリクエストされた秀作・名作がずらりと並び、見ごたえも十分である。他にもサレント・ムービー・フェスティバルや戦後映画ポスター展など価値アリのイベント盛りだくさん。駆けつけてみよう。だ。

●神戸映画大賞実行委員会事務局
神戸市中央区中山手通4-3-6
ゴールテンサンビル4F
078・252・1699



**リニューアルして充実。今だからこそ、
のヴァリユー・コスメティック。**



はじめは多少モノ珍しくもあつた不景気も、すっかり耳になじんだ昨今。ひところ浮き足立つていた価値観も、地に足のついたものとなつてきた。さて、日本などよりよほど前から不景気を味わつてきた欧米で、最も愛される化粧品をご存じだろうか。それはヴァリユー・コスメティック。高価な高品質ではなく、価格以上に価値のある化粧品のところである。こうした人々

に支持されてきたのが、カリフォルニアカラース。輸入品ならではの発色の良さに加え、リップスティックは唇にフィットして落ちにくく、ネイルエナメルは乾きがはやくはがれにくいといふ、メイクアップ化粧品として求められる基本品質をしっかりとクリア。その上3000円という価格が堅実である。今回のリニューアルで品質も一段とグレードアップ。一度お試しを。

●ビューティプロダクツ・インターナショナル社
03・35505・5736



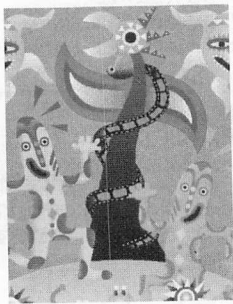
**鋼を囲む楽しさ、再発見。
ちゃんこ食わずして相撲を語るなかれ。**

世は相撲ブームである。今まで気にもとめなかつた夏場所の行方が、今年は気になる人も多いハズだ。そんなブームに影響

ある。鶏肉、豚肉、つみれ、イカ、とうふ、月ごんにやくに野菜など、食べごたえも抜群の恵那櫻ちゃんこは、みそ、醤油と

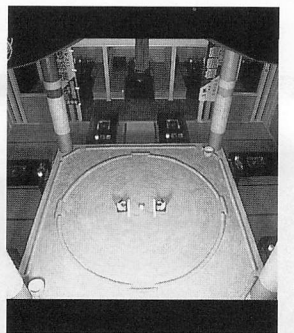
●ちゃんこ恵那櫻 一乗寺店
京都市左京区北大路白川東入ル二筋目下ル東側
075・702・0634
12:00PM~1:30PM
5:00PM~9:00PM 無休

神戸映画大賞'93 KOBE FILM AWARDS '93 KIFF'93



されてか、今注目なのがちゃんこ。中でも一乗寺のちゃんこ恵那櫻は圧巻だ。社長自らがアフアンの恵那櫻閣の名を店名にしているだけあって、店内は相撲ワールド。真ん中に祀した土俵をはじめて、各相撲部屋に見立てた個室に、流れる相撲墨句とキッチュなノリが楽しい。がメインはもちろんちゃんこで

味が選べて、800円。これに付出し、刺身、ビール本がついたセットが3,800円となっている。今なら1日50名迄のごきごきちゃんこ、000円もカレー風味で人気だ。コミュニケーションをこるにも最適な。なるにも最適な。



CULTURE

マッキントッシュで、新しい才能を開拓する。デジタルデザイン塾誕生。

ビジネスにたずさわる者にとって、もはや避けては通れぬツールがマッキントッシュ。仕事上の遭遇指数は高まるばかりだが、使いこなせる人材となると、まだまだなのが現状だ。その状況をふまえて、京都にもいよいよ誕生したマックの学校が、M.O.L(メデアデザインラボラトリー)。基本的な目的は、マッキントッシュを使って、ビジネスや自己表現のためのコミュニケーションツールを自分で

創ることができるようになること。そのため授業もレクチャーを受ける、というよりは、講師と生徒とで共に作り上げる形式をとっている。レイデザイン研究所と、エニアックインターナショナルの共同主宰などでは、そんなポジティブさも魅力の一つである。期間は3カ月でクール。コースは、昼間と夜間の2コースを設定しているから、もちろん、働さながら通うことも可能である。今後は、授業で



●M.O.L
京都市中京区四条室町西入ル一筋目上ル
075・213・3880
3:30PM~6:00PM
6:30PM~9:00PM
土日祝休

OTHER

ハネムーンを兼ねて。オーストラリアでの、イエス・アイ・ウィル。

ひと頃の派手な演出は影をひそめた、とはいえ近頃の日本で、結婚式のために使われる費用は、挙式、披露宴、引き出物など合わせて平均500万円前後が相場という。それにハネムーン、新居の準備などを含めると、かなりの金額である。どのみち費用がかかるのなら、式は簡素に済ませてハネムーンを豪華にといったカッブルが増えてきているのも現状だ。そして、この先結婚を控えたそんなカッブルにおすすしたいのが、オーストラリアン・ブライダル。ハネムーンも兼ねた、オーストラリアでの挙式で帰国後のお披露目パーティと合わせても料金的に割安。

その上ロマンチックな教会での挙式だけではなく、クルーザーのデッキでの船上ウエディング、広大な自然に溶け込んだカントリーウエディングなど、オリジナリティのあるシンチエーションで、より思い出深い結婚式を味わうことも可能だ。また、世界に数台しかないロールスロイスや婚車馬車での送迎、いつまでも脱ぎたくないウエディングドレスを着たままの挙式後のピクニック・ランチなど、日本では経験できない楽しさが盛り沢山なのもうれしい。もちろん、ドレス、タキシードは現地で豊富なデザインの中からセレクが可能。ブーケ、コサージュ



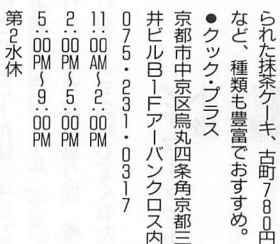
も、フレッシュな生花でオーダーメイドすることが可能。当日のヘアとメイクも、おすすのビューティシャンが担当してくれるから安心。あなたを輝く花嫁に仕上げてくれる。白い帆を映した手船碧の海、オペラハウスやハーバーブリッジのオーストラリアで、二人だけの結婚式を挙げるのもいい。



●オーストラリアンウエディング RANGEMENT
AUSTRALIAN WEDDING ART-RAISEMENT
9 Kings Grove
Beverly NSW, 2207 Australia
61・2・2554・3559
61・2・2554・3320
FAX 61・2・2554・3320



ビジネス街のビア・レストランといえば、メニューといい店造りといい、目立つのはやはり男性主体の店。そんな中、洋菓子のナガサキヤのプロデュースだけあって、女性の好みを配



慮してくれるクックフラスは、ウレシイ存在である。ハイネケンの生ビールやキリンのNo.497など、女性にも飲み易いビールが揃えられているのはもちろんのこと、レットロなラシカルさを意識した内装もおちつつけると好評。コシノヒロコの藍の食器から、お箸で楽しむカレーソーマン(2人前)1,500円やハンバーガーサラダおにぎりorパン付)850円など、ひと工夫されたメニューも人気を集めている。また見逃せないのが、デザートタイム。町の中心地だから、町衆のイメージを大切に

GOURMET

遊び心のミスマッチ感覚。独特の調和を見せる和みの空間。

エンバイヤビルの7F、キングコックの大和知広氏がこの度白川通にまた一軒、ゴキゲンな店をオープンさせた。その名も桔梗屋。一体さんでこくる意地悪商人を連想してシャレつけてしまった店名そのまま、氏のアイディアを思いつきで、一カ所に集めたようなノリが心地良し、な店に仕上がっている。ファンテック好きを活かした和風のインテリアにくつろぎながらホサノバを聴き、和食を楽しむながら洋酒を味わう、そんなミスマッチ感覚はこのテーマともいえるだろう。2カ月に一度くらいの割合でメニューは変わるが、おぼんさい50円や、沖繩ソーメン、チャンブル630円、そして下町のワイン赤玉570円あたりがおすすとのこと。コルク製のカ

ウインターやお座敷用の下駄箱など、独特のモノの組み合わせも見逃さず楽しみたい。

●桔梗屋
京都市左京区一乗寺塚本町106-2
075・721・8788
5:00PM~1:00AM 火休